

視点を変えてみたら、との思いで、生きものとのお付き合いの参考にどうぞ。

○ぶつぶつぶやき○(39)

草むらを見ていると、葉っぱの形が面白い。基本3枚セットのものでも、一つ一つ違うのだから、各種ハート形、ドロップ型など様々。3枚セットはマメ科が多く、また、その3枚セットがハート型はカタバミの仲間だ。同じカタバミの仲間でも、ハートの形の切れ込み具合やシャープなハートだったりふくよかなハートだったりして、それぞれ微妙に違っている。最近よく見かけるオオキバナカタバミには“そばかす”がある。ツメクサ（マメ科）の仲間のハートは、へこみが少なかったり、出っ張っていたりする。そして、この仲間の葉っぱには、白い斑があり、その斑の入り方には個体差と言うか環境によって違いがあるようだ。またご存知の“四つ葉のクローバー”と言われる楽しめる変異もあったりする。緑一面の草むらは形のパズルの様だなと、いつも思うのです。＜さんじゃく＞



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎(有)クラブード内 TEL & FAX: 092-400-1765

URL: <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会 94★

春日公園で、開花する桜の頃を、ゆっくりと観察します。

☆日時 3月16日 (土)

集合10時～解散12時

☆場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

3 / 17 日（日） 4 / 21（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

3 / 24（日） 4 / 28（日）
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

4 / 7（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

4 / 13（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

4 / 14（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

4 / 2（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

3 / 24（日）
濃施山公園（大牟田市）
時 間：9:00～
集 合：公園内すいせん橋
問合せ：090-7446-9047
（野田達行）

福岡植物友の会

3 / 17（日）
地島（宗像市）
問合せ：佃 昇（092-662-2983）
要予約
参加は有料 詳細はお問合せ下さい

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

4 / 6（第2土曜日）
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円
参加された方には新しい「自然観察マッ
プ」も差し上げます。

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

観察会や様々な生きものの情報を載せています



メジロ・グミ 三国・松永



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子



ノダケ・キリギリスの仲間 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

3 / 23（土）
定例会議
時 間：10:30～13:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

3 / 23（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



ウマスギゴケ 三国・松永

2019年2月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、2月1日（旧暦12月27日）～2月28日（旧暦1月24日）までのデジカメ日誌です。



2月5日（旧暦1月1日） 小城市池上 牛尾神社
神社の神木、ナギである。マキ科の常緑針葉樹。粉が吹いた様な実は、かつて灯籠の燃料にしたという。



2月12日（旧暦1月8日） 筑紫野市武蔵天拝公園池上池
左下に野良猫が水を飲んでいる。その4, 5m先にはマガモの小さな群れがいるという静かな景色。ほんの1分前には、岸边にいたマガモのメスを、この猫は明らかに狙っていた。狩りはなかなか難しいようだ。



2月27日（旧暦1月23日） 筑紫野市天拝坂
ニシキギの冬芽である。頂芽のとんがり具合が、すっぽんの頭に見えたら、翼は甲羅に見え手足もついている。風に揺られて空中を一心に泳いでいる。



2月8日（旧暦1月4日） 西区今津瑞梅寺川河口
右側の3羽が珍鳥、ホシムクドリ。私は16年ぶりの出会いだ。珍鳥に限らず、生きものとの出会いは季節・場所・時間がうまく合わないといけない。若いときは、いろんな場所へ出かけて、会いに行ったものでしたが……



2月15日（旧暦1月11日） 福岡市西区今津
元岡小3年生の野外学習でクロツラヘラサギとヘラサギを観せた。瑞梅寺川の河口で、対象まで約350m。望遠鏡で見せるのだが、結構遠い。そのうえ嘴を体に隠してみんな寝ている。皆さんならどんなお話をしてみますか。

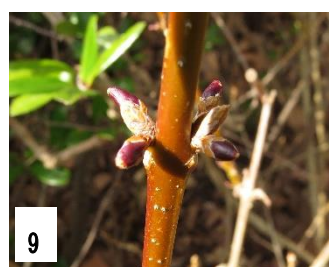


2月28日（旧暦1月24日） 唐津市浜玉町
元気に伸びたつくしんぼう。今年はフキノトウを観なかったのに寂しく感じていたが、やっと春らしくなった。

くすのき 2019年3月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

春日公園自然観察会（2019年2月16日）晴れ

新しくナイス福岡に入会された荒牧さんを加え、3名で、暖冬の冬の終わりの時季に樹木の冬芽を中心に見て歩きました。冬芽に毛が多いコブシ、冬芽の付いた枝に毛が多いアキニレ、イロハカエデやドウダンツツジは艶のある皮で覆われた冬芽などを見かけました。寒さ対策いろいろの冬芽、春を迎え、どんどんとその姿を変えていることでしょう。



9.レンギョウ 8.ドウダンツツジ 7.サンゴジュ 6.コブシ 5.トウカエデ 4.クヌギ
3.イロハカエデ 2.ハナミズキ 1.アキニレ

見かけた野鳥の中で、モズが地面の何かを狙っていた。シロハラの動きが大変目立っていました。

トウネズミモチの実を食べていた姿、落葉の中で餌探し中の姿を、あちこちで見かけました。

報告 田村耕作

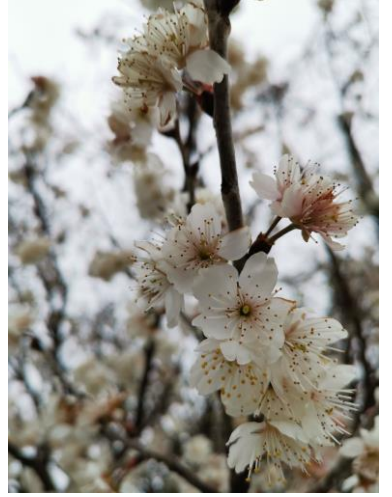


会員さんからの投稿

◎ 3月3日は桃の節句。

ちょっとだけ遠くから何か香ってくると近づくと、
たくさん咲いてました。宮地嶽神社入口付近です。

渋田和美



◎ 暖冬傾向でしたので、和白干潟のカモたちはだいぶ北へ
渡って行ったようで少なくなりました。

和白干潟沿岸では冬枯れのやぶの中にハマダイコンが
花を咲かせています。ツルナも小さな黄色い花を咲かせて
いました。春を感じた風景です。山本廣子



◎ 春日公園で散策中、ニシキギの枝に見られる翼は何のためにあるのかという事が、話題になり
ましたが、その場では分かりませんでした。宿題にしました。

後日、ネットで検索し、なるほどなあと思える説明を見かけたので紹介します。



ニシキギの中で翼を見比べると、コルク層の発達に大きな変異が
あり、1種の奇形である。このコルク層の発達が、特に生存繁殖に
とって不利でも、有利でもない。中立的変異と言われ、この変異が
たまたま蓄積した。人間の鑑賞的価値が高いために、人為的に繁殖を

助けられた。生物の形態の進化は用不用説で考えすぎないことが妥当。ネット上で(社)日本植物

生理学会、みんなのひろば植物Q&Aで、東大塚谷裕一先生の解説文から引用しました。

画像は2/16に春日公園にて撮影。報告:田村耕作

◎ 今、ミモザ(フサアカシア)が満開ですよ。明るい黄色の花が、穏やかな春を感じさせてくれます。

春日公園の野外音楽堂で見かけました。もうすぐ、

春たけなわですよ。

3/5の様子です。



● 会員の皆様へ再度の案内です

来年度(2019年)の九州自然協議会[鹿児島大会]の日程が決定しました。詳細はこれからですが、日程を予定表に入れておいていただけると幸いです。以下、鹿児島連絡会の河井さんからのメールを添付いたします。

九州自然協議会 in かごしま



- ・ 開催日 2019 年 10 月 12、13 日（土、日）
- ・ 宿泊地 鹿屋市上高隈町 3 8 1 1－1 カピックセンター（鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター）
- ・ 会費 5000 円以内・ 鹿児島中央駅からの送迎も想定。（新幹線、バス利用者）・ 46 名まで受け入れ可能
- ・ 内容は火山とサンバの渡りなど、8 月中には詳細確定できるものと思います。

以上、よろしくお願いいたします。

◆◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆◆

 会費振込について
会計年度は6月か

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2018年度会費が未納の方、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

 定例会に参加してみませんか？
 次回の定例会は、平成31年

次回の定例会は、平成31年4月12（金）午後6時より事務局で行います。2019年4月号の原稿は、2019年4/9（火）届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2019年02月の定例発送会は、山本弘子、藤川渡、永松愛子、田村耕作が参加。

3月に入って最初の日曜日、福岡市西区の瑞梅寺川河口での探鳥を楽しもうと気持ちを高めていたのに、天気が気に入らない様子で少し雨模様。でも傘さして歩けばいいかと、出かけた。現地はやはり小雨模様。一面茶褐色のヨシ原、耳をすまし、目はヨシの動きの有無をじーと見つめた。ホオジロの仲間であるオオジュリンがヨシの間で盛んに採餌中。これから繁殖のために北の地域に渡っていく準備中かな。

この時季、これからヨシ原の色がだんだんと緑色に、この環境で過ごす主も、南から渡ってくるオオヨシキリが主役に、間もなく交代。

大事なヨシ原、1年を通して、色々な生きものの物語が楽しいと思う。



2019 年 3 月 3 日 摄影